



広島大学留学生センター

日本語研修コース

第42期（2006年4月1日-2006年9月）



AETM 2006



成果発表会
2006年9月8日（金）

目次

みなさんありがとうございます

ダナル・プラセプティアンガ (インドネシア) 1

日本での私のけいけん

アリヤラタナー・ハシタ・ピムサラ (スリランカ) 5

私の日本でのせいかつ

ジャ・ディペンドラ・クマル (ネパール) 8

ナラという木からの思い

マカヒグ・レネ・アンジェロ・サルミエント (フィリピン) 12

パゴダのくに ミャンマー

トゥン・テイン (ミャンマー) 15

アフリカのび、ボツワナ

マナツァ・ボガ・トゥラ (ボツワナ) 18

私のかいがです

ベラ・ジュアリム・ダティレス (フィリピン) 21

ブラジル人と日本語

タナカ・カレン・タリタ (ブラジル) 24

日本の生活

ジョシ・ニラズ・プラカス (ネパール) 27

私の日本の生活

王盛 (中国) 30

わたし

謝地 (中国) 33

みなさんありがとうございます

ダナル・プラセプティアンが

みなさん、こんにちは。私はダナル・プラセプティアンがともうします。インドネシアからまゐりました。インドネシアでは大学のきょうしです。せんもんはしょくびんかがくです。広島大学でしょくびんかがくせいたいぎのうの大学いんせいになりました。

私は四月三日日本にまゐりました。ジャカルタのスカルノハッタこうからちよくせつまゐりました。なりました。ジャカルタからなりましたまでびこうきにのりました。七時間半ぐらゐがかりました。なりました。JASのとお、バスではねだへ行きました。それから、はねだから大阪いたまでびこうきにのりました。大阪につくまでによるになりましたからホテルに一晩とまりました。そこでスリランカのともだちに会いました。そして、しん大阪えきから東広島えきまでしんかんせんにいっしょにのりました。二時間ぐ

らいかかりました。しんかんせんの中でまど
 から川や山や海を見ました。とてもきれいで
 した。日本へくることは私にと、とてもか
 がい旅でした。

東広島之をで広大の先生と学生に会いまし
 た。その先生はインドネシア語を話すことが
 できたので、私はびっくりしました。先生と
 学生はとてもしんせつだと思えます。それか
 ら、わたしたちはじどうしゃでこくさいこう
 りゅうがいがんへ行きました。こくさいこう
 りゅうがいがんの2かいでいろいろのことを
 先生におしえてもらいました。そして、私は
 そこにすむことにまりました。

ここから、日本の生活がはじまりました。
 とてもうれしくて、たのしかったです。
 そして、広大の留学生センターで四月から今
 まで日本語をべんきょうしています。毎日じ
 てんしゃで大学へ行きます。しかし、雨がふ
 るときはあるいて大学へ行きます。

私の日本語のクラスには留学生がたくさん

いました。いろいろ外国からきています。
 じゅぎょうは毎日午前九時半にはじま。て、
 午後四時十五分におわります。日本語を聞いて
 て、話して、ひらがなとカタカナと漢字を書
 いて、読んで、ぶんぽうのれんしゅうをしま
 した。しゅくだいがたくさんありました。と
 てもむずかしくて、たいへんでしたが、おも
 しろか、たです。今では私は日本語がだんだ
 んわかるようになりました。

日本語のクラスのけんがくがありました。
 あちこちゆうめいなところへ行きました。た
 とえば、広島げんばくしりょうかんやみやじ
 まへ行きました。とてもうれしくて、たのし
 か、たです。

私はとせじをホストファミリーのおたくに
 もおじゃましました。そこでお父さんやお母
 さんに会って、日本語を話して、日本の生活
 もおしえてもらいました。それから、あちこ
 ち旅へ行って、いろいろな日本のりょうりを
 ごちそうになりました。私ははじめ日本の町

上うりはあまりたべられませんでした。しかし、今はだいたいたべられます。ごちそうさまでした。

このスピーチは日本語クラスのよいごのれんしゅうだと思えます。私の日本語はどうですか。私は日本語がじょうずになりたいです。

先生がたしホストファミリーのみなさん、どうもいろいろとありがとうございました。ともだちのみんないっしょに日本語をい。し。うけんぬいがんばりましよう。

みなさん、いつかまたお会いしましよう。おげんきで。

日本での私のけいけん

ハシタ・アリヤラタナー

みなさん、おはようございます。私はハシタです。スリランカから来ました。スリランカはインドの南端の近くにある小さい国です。スリランカの人口は日本の6分の1です。

今日私はなぜ日本に来たのかということと私のけいけんをお話しします。私は大学で勉強をつづけるために来ました。私の専攻はコンピュータサイエンスです。私が日本をえらんだ理由は日本がせいかいでもっともぎんぎんに発展しているからです。それに日本のぶんかにはスリランカのぶんかにはないです。なぜなら日本のぶんかにはぶんかをようにえいさようされているからです。

日本での生活はとても楽しいです。日本人はひじょうにしんせつです。いまのまんたいはことばがわからないことです。しかしこの

コースは私の問題をかいけつするためたいへんやくにたちました。しかしまだたくさん勉強しなければならぬことがあります。日本語とスリランカのことばはぶんぼうはにしています。新しいたん語を勉強するのはちょっとたいへんです。

日本の食べ物とスリランカの食べ物はにているところがありますが、ちがうところもあります。こめは日本と同じく、しょくじのたかかでじゅうようなぶんをしめます。私の国はうぶにかこまれていてたくさんの魚がいますから私たちもたくさん魚を食べられます。しかしすしというなまでの食べかたをしていません。またスリランカも日本もおちやをよく飲みます。

私の国のきこうはおきなわのきこうとにしています。きせつは日本とちがいます。スリランカでは雨のきせつとかんそうのきせつだけがあります。一年じゅうのきおんはだいたいおなじぐらいです。3のどぐらいです。スリ

ランカでは台風もじしんもありません。去年
つなみが初めてスリランカに来ました。そし
て私は日本で初めて台風とじしんをけいけん
しました。りょうほうとも私にとって新しい
けいけんでした。

日本で色々なけいけんをしたのはほんとう
に楽しかったです。いまちょっといそがしい
のであまりりょうこうができません。しょうら
いじかんがあれば日本で色々なゆうめいなと
ころに行きたいです。

とてもなじかいあいだでした。私たちに日
本語をおしえてくださった先生がたすべてに
こころからかんしゃします。ごせいちょうま
ことによりがとうございます。

私の日本でのセリカッ

ジャ・ディペンドラ・クマル

先生方、ホストファミリーのお父さんとお母さん、ともだち、ここにいらっしゃるみなさん、おはようございます。

私は、ディペンドラです。国はネパールです。電気工学のほかせかていでベンキョウするため日本に来ました。

まず、私の国について少し話したいと思います。ネパールは小さい国ですが、とてもきれいです。中国とインドの間にあります。ネパールは、なりのりの国で、じんこうは286万人ぐらいです。ネパールはせかいでいちばんたかいエベレスト山とブツダがうまれた所としてゆうめいです。

日本に来たとき、私は日本語がぜんぜんわかりませんでした。「おはようございます」と「ありがとうございます」だけいえました。今はまあまあだいじょうぶです。私の日本語が上手になるよう先生方はとてもいっしょう

けんめい教えてくださりました。私たち大きい子供を見てくださってありがとうございます。あたらしいことばをあたらしいもじで始めるのはかんたんではありませんでした。私のことばのネパール語はひらがなやカタカナと同じようなアルファベットでできています。でも、かんじはずっとおずかしいです。

私が子どもだったとき、日本にいてさいしょにいったことばはとうぜんながら広島と長崎でした。広島に来ることが私のゆめででした。日本に来る前にげんばくのしゃしんを見たり話を聞いたりしました。でも、げんばくしりょうかんで見たしゃしんはほんとうにひどかったです。げんばくのひがいからのふっこうはすばらしいと思います。そして、ふっこのせいがかつができるようになってよかったです。と思います。

もう、五か月前の日本に住んでいます。その間に私はみやじまやいわくにわおのみちなど旅行しました。その旅行はおもしろかっ

たです。私の国では、山やみずうみはたくさんありますが、うみはありません。日本には、きれいなうみがあるから旅行するとたのしいです。ふねにのれてうれしかったです。みやじまのじんじやとおのみちのちかくのこうさんじの、るいおてうはとてもきれいでした。ホストファミリーのお父さんとお母さんは色々な所へつれて行ってくれました。ほんとうにありがとうございます。

今まで、日本のせいかつは楽しかったです。けれども、かぞくを思いだしてさみしくなります。食べ物はやとちがいますが、なれるようにがんばっています。日本に来てからいちばんかんだうしたことは、日本人の人をたすけることです。日本人はあまりえいごで話すことは上手ではありませんが、いつもたすけてくれます。

さいごに、先生方やいっしょに日本語けんしゅうコースでべんきょうしたともだちやホストファミリーのみなさん、私の話を聞いて

4
くださりありがとうございました。みんな私の
国にぜひしょうたいしたいです。ネパール
でのたいぎいはすばらしいものになるでしょ
う。

ありがとうございました。

ナラという木からの思ひ

レネ・アソジエ ロ・マカヒグ

フィリピンを出るときも、日本に着いたときも、花に包まれていました。国を離れたときは多彩な花の夏でしたが、日本に着いたときは美しい桜アソジエの春でした。フィリピンの夏と言えば、色とりどりの花が思ひ浮かびます。しかし、出発の準備でいろいろと忙しかったので、夏になったことにぜんぜん気付きませんでした。とても忙しくて花の香りを楽しむ時間もありませんでした。これからこのすばらしいフィリピンの夏をいつかたび味わえるのだろうかと思ひました。

ある日、電車でマニラの中心にある一番にぎやかなタフト通りという道を通りました。その時、通りで、花が咲いた「ナラ」という並木を目にしました。前は気付きませんでした。「ナラ」はフィリピンの国民の木で、材木が丈夫できれいなことで有名です。お金持ちや有力者の家は赤茶色の「ナラ」で作られ

た家具で飾られています。しかし、「ナラ」の花はあまり知られていません。三月に夏が近づくと、大きくて強い「ナラ」の木に小さくてきりり花が咲きます。そして、風が吹くと、花吹雪になってほんのり甘い香りが漂います。

化学専攻の私として、香りや香料の開発に興味がありますし、電車通勤の1人としても、忙しいうまの隠れた美しさに見とれました。

「ナラはとてもいい木です」のように、私たちは観光ガイドブックから、いろいろなことを習います。そして、これらに慣れます。たとえば、「フィリピン人はもてなしがいいです」そして、「日本人は勤勉です」人はすべてを箱に入れて、すべてにレッテルをつけようとしています。その結果、人は箱の外にあるものやレッテルを越えた発見ができなくなります。

人は一次元ではなく、二次元でも三次元でもありません。人は多次元だと思えます。そ

して、文化も人と同じように多次元のはずで
す。フィリピンにしても、日本にしても、文
化の中に発見できるものがたくさんあります。

今の私の願いは、数年後、日本での勉強が
終わるときまでに、いろいろな文化を経験し
て、数多くの友情を育むことです。今から三
年後、空港で荷物を抱えて、「私は日本につ
いて全部知っている」と言いたくなりたいです。
「日本についていろいろ見てきましたが、い
つかまた戻って、もっといろいろ見たりたいです」
と言いたいのです。それと同じように、ここ
にいる友達たちにフィリピンについて知って
いただければうれしいです。

パゴダのくに ミャンマー

トゥン

私はトゥンともうします。今年の春にミャンマーから日本へまいりました。私は国で日本語を少しべんきょうしました。私は広島大学に来てはじめてさくらを見ました。日本のいろいろなりようりをごちそうになりました。はじめ日本のりようりはあまり食べられませんでした。でも、今は何でも食べられます。日本りようりのなかですしがいちばん好きです。ごちそうさまでした。

私の専門はせいぶつがくです。今私の専門をべんきょうしながら日本語をべんきょうしています。がいこくごのべんきょうはむずかしいですがおもしろいです。こちらに来てからは毎日大学まで自転車に通いました。それで体がとてもじょうぶになりました。

ミャンマーはとうなんアジアにあります。ミャンマーの面積は677000平方キロメートルです。ミャンマーに135の民族がいます。

ミャンマーのじんこうは5240万人です。じんこうの90パーセントはしょうじょうぶっきょうとです。

ミャンマーはりょうこうしゃにパゴダのくにとしてしられていいます。ミャンマーのれきだいのおうさまはかぞえきれないほどのしゅうきょうてきたたてものやおてらたてました。くいのどこからでもパゴダがみられます。そしてどこからでも風がならずパゴダのへいおなかねのねがいつでもきこえてきます。

バガンのまちはミャンマーのなかでこころがくてきにそしてしゅうきょうてきにいちばんゆうめいのです。バガンおうこくはじゅういっせいきからありました。バガンは、42平方キロのおおきいこたいのまちです。れきしの本によるとバガンに4446のパゴダがありました。じしんのたぬに今は2230のパゴダがのこっています。これらのパゴダは1988年にユネスコのせかいいさねにとりぞくされました。

なかでも、バガンでも、ともせがたかいサツ

トビ - ニュ - パゴダとはでなシュ エジーゴン
 パゴダとはとても大きいダーマ - ヤンジー - パゴ
 ダとはとてもふるいアーメンダー - パゴダがいち
 ばんゆうめいです。

ミャンマー - じんはパゴダをつくることが大
 好きです。ぶっかくはみんなにと、てへいわ
 なところとしてつくられます。それでミャン
 マ - はりょこうしゃにパゴダのくはとしてし
 られていきます。

みなさん、チャンスがあ、たらせてへいわ
 なパゴダのくはミャンマーへいらしてくださ
 い。いろいろありがとうございました。

アフリカのび、ボツワナ

ボガ・トウラ・マナツァ

はじめに、じこしょうかいをします。

わたしのたまえは、ボガ・トウラ・マナツァで、ボツワナからきました。ボツワナからにほんにきてべんきょうするがくせいは、わたしがはじめてで、じぶんのくになぜび、しょうかいしたいとおもいました。わたしは、このしかつよっかに、にほんにきました。かいがいへたびをするのは、これがはじめてです。

わたしはしちにんかぞくで、わたしには、ぶたごのいもうとがいます。さて、ボツワナのわだいにもどります。

ボツワナはちいそなくにで、アフリカなほぶのちゅうおうに、いちしています。しかしジソバブエヤザソビア、なほみアフリカのくのように、こくさりなきにゆうめいではなく、あまりしらねていません。それは、しょうくみんちじだいに、しんこくなせいじてまもんだいをけいけんしていぬいからです。な

せんをふくめ、そのようにもんだいをけいけいにしていなくには、アフリカでもかすくはないです。

ボツワナは、ほくとうにジソバブエ、ほくせいになミビア、きたにザソビア、みはみにみはみアフリカきょうわこくとこっきょうをせつしています。めんせきはやく、58まん2せんへいほうキロメートルです。ボツワナは1966ねん9がつ30にちにイギリスからどくりつしました。じんこうは、やく169まんにんです。

そのほかには30いじょうのめんぞくがります。それぞれめんぞくが、それぞれのことばをはなします。げんじゅうめんぞくはツワナとよばれ、そこがらくにのなまえがボツワナとなり、こくごはセツワナごになりました。ごごはこうようごで、が、こうやせいぶ、さいばんなどのばしょでつかわれます。しかし、ひとびとは、こじんてきなかりわにおいて、じぶんのめんぞくのことばをつかっています。

けいざいめんではいうと、ボツワナはダイヤモンドとギョウにくのせいさんこくとしてゆうめいです。ボツワナはせかいでいちばんのダイヤモンドギョウギョウにくで、ギョウにくはせかいで3ばんめです。かんこうさんギョウもせかいでいちばんです。

ボツワナは、アフリカで3ばんめにゆうふくなくにで、GDPは1まん500ドルです。いいせいじと、民主しゅぎのおかげで、けいざいはあんでいしています。くにはゆたかでも、こくみんはびんぼうなため、もっともちからをいねているのが、ひんごんたいさくです。ボツワナにはだいがくがひとつしかなく、わかもののしつぎょうしやをうみたすげんいんになっでいます。

これがボツワナについてのしょうかいです。わたしは、みなさんにボツワナをおとずれて、アフリカのうつくしさをみてほしいです。ありがとうございました。

1
私のかいがです

ジュアリム・ダティレス・ベラ

みなさん、こんにちは。私はジュアリム・ダティレス・ベラです。私は29さいです。国はフィリピンです。今まで私は広島大学で日本語を勉強しました。来月から広島市立大学でげいじゅつの研究生になります。

子どものときに私は絵が大好きでした。そして今までビジュアルアートにこだわりつけています。

私はげいじゅつせんもんの高校で勉強しました。それから大学でびじゅつをせんこうしました。

大学のげいじゅつかをそつぎょうしてから母校の高校で8年間いじょうおしえたりげいじゅつかつどうをしたりすることができました。そして、日本にりゅうがくするきかいはありました。日本で勉強することのおかげで、私は、もっとせんもんてきになって、そしてけいけんもふえて、フィリピンへかえったと

ぎ、ならったことをおしえることができるとおもいます。

今日、私は美術さくひんについて話したいと思います。私がいちばんしたいことはいつでも絵をかいたりちゅうこくをつくったりすることです。

私が絵をかくときは、私のけいけんがだいたいになりま。毎日のせいかつや本をよむことやしらべたことがけいけんです。

いろいろなタイプのスタイルの絵をかきます。しゃじつてきな絵もちゅうしょうてきな絵もかきます。でもしゃじつてきよりちゅうしょうてきな絵のほうが好きです。

私の絵のデザインをつくるためにいろいろなかたちや色をつかいます。

たとえば、リゅうがくせいセンターでのけいけんを絵にするなら、手をとった人たちをちゅうしょうてきに円であらわすとおもいます。人のかたちはリゅうがくせいセンターでべんぎょうしたいろいろなくのにのりゅう

がくせいです。

あかるいいろはゆうこうのはしをつくるリゅうがくせいセンターです。

私は日本語クラスのすばらしいけいけんにたいして、リゅうがくせいセンターとホストファミリーとせんせいがたにありがとうと言いたいです。

この絵はいろいろお世話になったことへのかんしゃのきもちとしてリゅうがくせいセンターにさしあげたいとおもいます。

どうもありがとうございました。

ブラジル人と日本語

タナカ・カレン・タリタ

おはようございます。

私はタナカ・カレンと言います。ブラジルからまいりました。

日本人のような顔をしているので、日本では私は時々日本人にまちがえられて日本語で話しかけられることが多いです。でも私がいまだに日本語がわからないとわかるとみんなびっくりします。

日本のように国民全部が一つのルーツをもっているような国はおもしろいと思います。私の国ブラジルには多くのしゅるいの人びとがいます。だから、だれがほんとうのブラジル人であるかを言うのはむずかしいです。ブラジルにいる人はみんなブラジル人だと思っています。

ブラジルで二年間日本語を勉強しましたが、こちらで習ったけいけんはとてもよかいです。たです。クラスメートは色々な国から来ています

から、授業はきょうみぶかいのものでした。

新しい言葉を習う時に、私たちは多くのきかいをえます。自分とことなる人びとにひょうげんできるし、頭がきたえられるし、ほかの文化をりかいでできます。も、ともじゅうようなことは人々から学べることです。それに私たちは新しいしてんから世界を見られます。世界が広がり、どうじに自分じしんのことも学びます。人間は特別なそんざいのです。なぜなら、いしそつうができるからです。しかし、人々は話すことは多くても、たにんの意見をりかいるために、聞こうとすることは少ないです。それが平和にくらせないおもなりゆうの一つだと思えます。

文法とごいがとてもちがうので、外国人にと、て日本語を習うのはかんたんではありません。けれども、それは本当におもしろいのです。私にと、ては祖父母の文化ですから、特別におもしろいのです。

日本にいて、日本の生活をけりけんするこ

とはとてもいいです。私は日本人の考え方や
こうどうをりかいしたいです。そうしたら、
私はブラジルの家族のこともりかいできます。
私の祖父母は日本人です。しかし、かれらは、
七十年ぐらい前よりよいくらしをもとめてブ
ラジルに行きました。そして、今から二十年
ぐらい前、多くのブラジル人が同じりゆうで
はんたいのことを始めたのはおもしろいです
ね。

今、私は日本せいふのサポートでここにい
ます。私はこのきかいにかんしゃしています
ので、がんばります。

先生ありがとうございました。

クラスメートのみなさんありがとうございました。
楽しかったねえ。

日本の生活

ジョッ。ニラズ。プラカス

先生方、ホストファミリーのみなさま、ここに
いるみなさん、ありがとうございます。
私はネパールからの留学生のジョッです。今日
私の国と日本の生活について話したいと思
います。どうぞよろしくおねがいします。

ネパールはみなさんごぞんじだと思います。
山や川やみずうみやこくりつこうえんなどか
たくさんあります。せかいの中でネパールは
しげんのうつくしさではとてもゆめいだと思います
か、あまりゆたかか国ではありません。
それで日本はおがしからネパールをえん
じょしてくれています。そのおかげで私は日
本へ留学することかできました。ありがとう
ございます。

私は去年の10月4日にネパールから日本へ
まいりました。カトマンズからバンコクけい
ゆでかんさいくうこうに着きました。かんさ
いくうこうから東広島えきまでしんかんせん

できました。そして夕クツーで広島大学へきました。ここから日本の生活が始まりました。

さいしょの6か月は日本語のレベル-Eをべんきょうしました。そして今年の4月から日本語のけんしゅうコースの学生になりました。けんしゅうコースで、色々外国の友達に会いました。毎週月曜日から金曜日までのじゅぎょうはおもしろかったです。日本語のかなとぶんぽうと読むこともわらいました。

去年の10月、もみじはたんだん赤くなりました。すばらしかったです。そして12月にはじめて雪をけいけんしました。とても楽しかったです。つぎのきせつ春には鏡山こうえんで花見をしました。夏はとても暑いです。日本のきせつはネパールのきせつと同じです。

日本りょうりはわがめいがいせいぶんおおいかったです。色々日本りょうりも食べました。さしみが大好きです。食べ物は何でもおいしいですから日本の生活はかいてきにかりました。

さいごに先生方とホストファミリーのみなさまとけんしゅうコースのどうきゅうせいとここにいるみなさん、色々とほんとうにどうもありがとうございました。

私の日本の生活

王盛

私は王盛です。去年の十月に中国から日本へ来ました。広島大学の教育研究科で勉強しています。専門は体育教育です。日本にきた時、広島大学の学生寮に入ることができて、本当に感謝の気持ちで一杯でした。

私は国で日本語がぜんぜん分かりませんでした。だから、第4期の日本語研修コースに参加したかったです。しかし、来日が少し遅かったのので参加できませんでした。

日本に来た後、日本の生活費と授業料が高いと思いました。私は時間がたくさんありましたからアルバイトを始めました。四つのところでアルバイトしました。これらのところで一番印象に残ったのは日本のおばさん達です。彼女らはいつも真剣にしごとをして頑張っています。それは日本人の国民性の一部分ではないかと思って、感心しました。それに生活費と授業料以外に、旅行の費用も得まし

た。

今年の正月、私は初めて新幹線に乗って大阪と神戸に行きました。神戸の六甲山でスキーをしました。スキーをするのも初めてです。家族四人でいきました。とても楽しかったです。そして、今年の四月は広島大学の中国語学生学友会に所属してたくさんの中国の友達と一緒に岩国へ行きました。桜がとてもきれいでした。五月には阿蘇山や別府温泉や黒川温泉に行きました。大いに見聞を広めることができました。さらに、日本に来て、広島大学の学長主催の留学生パーティーやホームステイや留学生のためのバザーに参加しました。日本は留学生のことを深く考えてくれていると思いました。

ところで、今年の三月、私は結婚しました。同時に、夫は広島大学を卒業して就職しました。それで、四月、私はアルバイトをやめ、第42期の日本語研修コースに参加することになりました。それからの生活はとても充実して

いて有意義です。クラスメートの皆に出会って本当にうれしいです。私は英語があまりできないから、先生方も同期生もいろいろ協力してくれて、感謝しています。

最後に、私は来年の四月に大学院に入りたいです。今からも頑張ります。

ありがとうございました。

わたし

シヤチ

私はシヤチともうします。今年の2月日本にきました。日本はとても発展した、きれいな国だと思いました。日本人は親切でやさしいです。四月から私は留学生センターで日本語を勉強しながら、スポーツリハビリテーションを学んでいます。日本語のクラスはむずかしいですが、おもしろいです。特に日本語の先生はやさしくておもしろいです。色々な日本語の知識と技術を教えてもらって、私はとてもうれしいです。ほんとうに感謝しています。日本語は私にとってとても重要なことだと思うからです。これから、日本語を勉強するため、もっとがんばろうと考えています。

私は幼いころからスポーツがすきで、様々なスポーツをしてきました。中学校からはじめたバレーボールは、高校で引退するまで約六年間続けました。高校二年生の時指を痛め、スポーツトレーナーに出会い、その人から治

療だけでなく、日頃のケア、予防の仕方を詳しく教えてもらいました。その時、私は今までの自分のケアのしかたや練習に疑問を持ち、身体についてさらに研究したいと考えるようになりました。そのことがきっかけでスポーツトレーナーになりたいと思いました。私はスポーツと人の身体とはいったいどのような関係で結ばれているのかを知りたいと思い、六年前に中国寧夏医科大学へ進学しました。私が中国で学んだのは臨床医学です。臨床医学は有疾患者を対象として、それを診断し、治療を行うことを目的とした学問です。中国では臨床医学を修め、資格試験に合格すれば医者として働くことができます。主要科目には外科や内科や婦人科などがあります。臨床医学の目標は人々の健康の回復と保持です。

臨床医学の勉強と臨床経験を通じて、私は骨関節系の疾患に興味を持ち、さらにスポーツ疾患患者が多い骨科という診療科でインターンの経験したので、スポーツ障害に関心を

持ちました。特にACL（膝前十字靭帯）の損傷のような疾患では、術後長期休養とリハビリテーションが重要です。私はリハビリテーションが患者の早期復帰にとっても役立つと思います。私は中国にいる時、日本では良い環境でスポーツリハビリテーションを学べると聞きました。そこで、知識と技術を得るため、日本で学ぶことを望むようになりました。

今後、スポーツリハビリテーションを日本語で勉強することは私にとって大きなチャレンジです。私は臨床医学を通じて得たリハビリテーションの基礎が、スポーツリハビリテーションを詳しく勉強のに役立つと考えています。そして、私は中国ではマッサージの資格と臨床経験があります。まだ資格はありませんが、指導の下に鍼灸の経験をたくさん持っております。

大学院のマスター課程では私はACL損傷について研究したいと思います。わたしの研究は、ACLの長期治療、予防、リハビリテ

- ションの分野の理論の基礎になりえると思います。